

## 2019年度事業計画書

2018年の夏は日本各地で大雨による被害があり、丹後でも各所で道路が寸断され、海と星の見える丘公園内でも土砂災害がありました。2018年から2019年の冬は秋からの予測通りの暖冬でした。丹後でもほとんど雪が降らず、日々の生活や移動では過ごしやすい冬でしたが、夏にむけて水のこと、越冬できてしまった野生動物の数が多であろうことを考えると次の季節のことが心配になります。同じ冬に北海道や東北では大雪や嵐に見舞われ、一方で関東地方では、記録的な雨不足による乾燥が引き起こした火災がニュースになりました。世界に目を向けると、インドやトルコなど普段なら雪のない地域での大雪や北米大陸ではナイアガラの滝も凍るほどの大寒波襲来、同時期にオーストラリアでは気温が50℃に迫ったことが報じられ、世界規模での気流の乱れによる異常気象かとも言われていました。

夏の熱波や豪雨、冬の大寒波や大雪、一方での暖冬と、「異常気象」というには頻回すぎる特別な気象現象が毎年のように起こります。もはやどんな気象現象が起こっても不思議ではないと思わざるをえません。私たちが享受している便利で豊かな生活の代償だとすれば「地球環境の破壊を防ぎ、後世に明るい未来を伝え残す」という地球デザインスクールのミッションの遂行をスピード、ボリュームをあげて行っていく行かなければ取り返しのできない時期にきているのではないかと思います。

地球規模で起こっている環境の変化に対して個人や一団体ができることには限りがありますが、これ以上の悪化を防ぐために自分たちにできることをまず自分たちが取り組み、そして社会にむけて発信していきます。何が起こっても不思議ではない先の見通しが持ちにくい時代にあっても、諦めて下を向くことなく、自らの知恵とエネルギーを発揮して、仲間とともに「なんとかなる」という気持ちをもって歩いていくことができる人になり、またそのような人を増やしていくことに注力する2019年にしたいと考えます。

### 今年度の重点項目

#### (1) 環境教育プログラムの充実

創造的かつ体験的な活動を通じて、地球のデザインから学び、地球環境をデザインできる人を育むための環境教育プログラムの企画、運営を充実させる。

#### (2) ネットワーキング事業の充実

NPO 組織内外のネットワークの充実を図る。丹後・丹波・但馬の施設との連携であるコネクト三 TAN 地球育環境ミュージアムの活動を拡充するほか、「森の美術館」も継続実施する。

#### (3) 記録の充実

試行錯誤の繰り返しではなく、経験の積み重ねになるよう、記録（ドキュメンテーション）の充実を継続実施する。

## 実施事業

### (1) 地球環境と調和する社会や技術を調査・研究する事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
モニタリング サイト 1000 里地調査	丹後海と星の見える丘公園内をフィールドに、植物相、水環境など5項目の継続的観察、データ収集を行う。	通年	高校生～	20
プロジェクト 2041	京都教育大学や宮津高等学校と連携し、知と体験を融合させる環境教育プログラムの開発を行う。	通年 秋に京都教育大学生 企画のイベント	高校生 大学生 教員など	20
森林整備	海と星の見える丘公園内の森林をフィールドに、計画的整備を行う。	通年		1500
稲作	波見地区の水田1枚を借り、無農薬での米づくりを参加型で行う。 文化や食の関心のみならず生物多様性に目を向けるきっかけとする。	田植え 5月 稲刈り 9月 季節に応じた観察会 や管理の実施	幼児～ 大学生 親子	50

### (2) 創造的かつ体験的な活動を通じて、地球環境をデザインできる人を育む事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
京都自然塾	脚本家・倉本聰氏監修の富良野自然塾をモデルにした環境学習プログラム。雨天時対応や出前授業なども行う。	4月～11月 ビジットは冬も可	小学生以上	10
森の楽校	間伐やもやかき、下草刈りや笹刈りなど季節に応じた森づくり活動の一部を体験で行う。	3月～9月下草刈り 10月～12月間伐		10
森探検・ナイトウォーク	スタッフがガイドを行い散策する。実施の季節や対象によって時間や内容に変動がある。	4月～12月 3月	幼児～	10
海の楽校	磯観察や砂浜観察などを行う。オプションで顕微鏡を用いたプランクトン観察なども行う。	4月～12月 3月	小学生～	10
里の楽校	地元住民を講師に郷土料理作りや魚さばき、おくださん、国産小麦を使った石窯パン作り等体験を行う。	4月～12月 3月	小学生～	50
アースデイ丹後	丹後の食や体験を集めたイベントを通して、自然や地域に目を向けるきっかけづくりを行う。	5月3日、4日	幅広い年代の市民	50

里山ラソン	公園の景観や散策道を生かしたマラソン大会。運動を通して自然を楽しむ、自然と健康を考えるきっかけづくりをする。	4月14日	小学生～	20
うみほしDAY	毎月第一日曜日を特別な日曜日として位置づけ、いつもとは一味違う体験や食を用意する。	4月～3月の第一日曜日（1、2月除く）	こどもや親子はじめ広く市民	5
宿泊体験プログラム	丹後の森、里、海での季節に応じた自然体験学習を、宿泊を伴う形で実施する	7月13日～15日 7月30日～8月3日 8月16日～18日 9月19日～20日 12月25日～26日 1月11日～12日 2月15日～16日 3月28日～30日	小学生（都市部、近隣）、 発達障害のこどもなど	510
田ガキになろう	稲作のうち、田植えや稲刈り、稲木立て、稲木干しなどを体験プログラムとして実施する。	5月19日 9月15日ほか	こども、親子	60
森もりキッズ・森もりキッズジュニア	通年で野外体験を実施し、自然に目を向けるきっかけをつくるとともに、生きる力を身につける。	6月～3月の間に各1回開催	丹後地域の小学生	40
どんぐりようちえん、団栗スペシャル	年間を通して自然体験活動を実施し、子どもたちの挑戦する機会を設けるとともに親子の時間をつくる。	5月～3月の第一日曜日（1月除く）	未就学の幼児とその親	55
丹後学	丹後の自然や歴史、産業などについての訪問授業を行う。	随時	小学生～	10
インターン生、ボランティアの受け入れ、育成	作業手伝いではなく、参加者の学習機会となり、NPOとして将来につながる人材育成を意識し、受け入れる。	随時	高校生・大学生中心	100
地震火山こどもサマースクール	日本地震学会等三つの学会との共催で丹後半島の成り立ちや北丹後地震について学ぶ。	8月10～11日	小学生～高校生	1500

(3) 地球環境と調和する社会をつくろうとする市民活動を支援しそのネットワークを広げていく活動

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
------	----	--------	----	--------

コネクト三 TAN 地球育	丹後・丹波・但馬地域のミュージアムで連携し、学習会や合同事業を行う。	通年		50
森の美術館	支援学校や福祉事業所等と協働で、アールブリュッド展を開催する。	11月1日～6日	障害者をはじめ、市民	100
グリーンバレーズ構想	世屋から波見谷周辺をフィールドにした体験プログラム等を実施し、地域の宝の掘り起し、発信、継承につとめる。	通年	高校生～	0
地球デザインスクール会員間ネットワーク	会員向けのニュースレター作成やウェブ発信、メーリングリストなどを活用し、情報交換を活発にし、企画への参画、参加を促進する。	通年	NPO 会員	50

(4) 上記事業を促進するための施設・空間を、市民参加型で創り、管理し運営する事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算 (千円)
海と星の見える丘公園管理運営	丹後海と星の見える丘公園の指定管理者として、公園の管理運営業務にあたる。	通年	府民等	50,000
環境担い手づくり推進事業	府の委託を受け、海と星の見える丘公園を京都府北部の環境学習拠点として機能強化する。	通年	府民等	2,000

(5) 持続可能な地域社会づくりに関する物品販売事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算 (千円)
Almon	地域で活用されず眠っているものに光をあてて、モノの循環をうみだす物販事業を行う。	通年	広く市民	20

(6) その他

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算 (千円)
MFA	救急医療の先進国アメリカで誕生した応急手当の訓練プログラムを、トレーニングセンターとして行う。	随時	高校生以上	75
ドキュメンテーション作成	全ての活動を対象に、活動の経過を含めた記録の蓄積と共有、発信を目的にドキュメンテーション作成にとりくむ。	通年	主にスタッフ、理事	

